

平成18年2月24日

北青葉山分館利用者 各位

北青葉山分館長

北青葉山分館通常開館時間外利用の再開について

北青葉山分館では、館内でタバコの吸い殻が今月2日および13日に相次いで発見されるという異常事態に対し、平成18年2月13日より通常開館時間外の利用を停止してまいりました。この間、2月21日に、13日未明にタバコの吸い殻をゴミ箱に捨てた当事者が名乗り出ました。当事者は携帯用吸い殻入れに入っていたタバコの吸い殻を捨てたが、北青葉山分館内では喫煙していない、と釈明し、軽率な行為をしてしまったと深く反省していると謝罪しました。

本日開催された北青葉山分館運営委員会において、

- (1) 当事者が名乗り出て謝罪したこと
- (2) 通常開館時間外の利用停止は各方面に多大の影響を及ぼす重大な処置であること
- (3) 分館利用者の間に喫煙問題の深刻さについての認識が広まったこと

に鑑み、**2月27日(月)**から夜間および休日の利用を再開することを決定いたしました。今後は、図書館内での禁煙を徹底するために、新入生など新たな利用者への働きかけを強化するなどして、未然に喫煙行為を防止する努力を一層推し進めます。

北青葉山分館内には、20万冊を大きく超える図書が所蔵されています。言うまでもなく、これらは先人から受け継いだ貴重な財産です。必要な資料が必要なときに閲覧できる現在の体制は、館内での喫煙はもちろんのこと、吸い殻を図書館内のゴミ箱に捨てることも言語道断の行為であるという常識がすべての利用者に行き渡っていることが前提です。この常識を共有できない利用者に対しては断固たる処置をとらざるを得ません。

北青葉山分館は、今回の処置があくまでも緊急事態に対応するものとして取られたことを利用者の皆様にご理解戴きたくお願いすると同時に、より実質的な喫煙対策を講ずるよう務めてまいります。

